

地球環境とともに

基本的な考え方

京王グループは「環境にやさしく」という「京王グループ理念」に基づき、2004年に「京王グループ環境基本方針」を、2010年に「生物多様性行動指針」を定め、環境保全活動の推進のため、環境マネジメントに取り組んでいます。

低炭素社会を目指して

省エネルギー化への取り組み



燃料電池バス



ハイブリッドタクシー

京王電鉄バスグループでは、水素と空気中の酸素で発電し走行する燃料電池バスやハイブリッドバス、ヘッドライトなどをLED化した車両を導入しています。また、西東京バスではハイブリッドバスの導入や電気バスの受託運行、京王自動車グループでは、ハイブリッドタクシーやアイドリングストップ機能付きタク

シーを導入するなど、省エネルギー化に取り組んでいます。

太陽光発電



宮古市の発電設備

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。2015年から相模原市の有地において、2019年から岩手県宮古市において、太陽光発電事業に取り組んでいます。

循環型社会を目指して

海洋プラスチックゴミ問題への対応

京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018年12月より新宿・多摩・八王子・札幌の4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。

その他、京王百貨店および京王ストアでは、お客様により一層のマイバッグの持参を呼びかけています。



紙ストロー

地球環境とともに

環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開



既存建物を再生することで、限られた資源を有効活用し、CO₂排出を抑制する環境にやさしいリノベーション事業をリビタで展開しています。

2018年に高尾山ケーブルカー「高尾山駅」に隣接する商業施設をリノベーションし、「高尾山スミカ」としてリニューアルオープンしました。これにより、高尾山の魅力を発信する基地として生まれ変わりました。

自然共生社会を目指して

京王クリーンキャンペーン



地域の貴重な自然環境の保全を目的に清掃を行う「京王クリーンキャンペーン」を、1991年から継続的に実施しています。グループ各社の社員をはじめ、一般の方にも多数ご参加いただいています。

「高尾の森再生」ボランティア活動支援

日本山岳会「高尾の森づくりの会」は、裏高尾の小下沢風景林をフィールドに、50年、100年の計画で、花粉の少ない森、多様で豊かな森の復元を目指してボランティア活動を続けています。京王電鉄は、この会の趣旨に賛同し、2002年から2015年まで広葉樹の植樹用苗木約17,000本を提供するとともに、2016年からは、間伐作業などの育樹活動のお手伝いをしています。

高尾の森 親子森林体験スクール



2008年から「高尾の森 親子森林体験スクール」を、日本山岳会「高尾の森づくりの会」との共催で開催しています。裏高尾の小下沢風景林をフィールドとした森林作業や自然観察などを通して自然の大切さを学ぶことができます。